

真萱区報第23-3号(23年11月)

発行責任者：真萱自治会長 高橋健二

1. 区長挨拶

自治会の主要行事である「校区運動会」「御手洗神社秋の大祭」も皆さんの協力で無事遂行する事が出来ました。お礼を申し上げます。

自治会は、本来「住民がよりよい生活を送るため、その地域で暮らす人々で結成した組織」で、皆が協力して運営することに意味(効果)があります。

そのためには、「住民同士が顔見知りで、団結している事」が重要であり、気軽に「誰誰さんこんにちわ」と声かけ出来るような、人間関係をつくっていく事が大事と考えています。

真萱自治会は、これからも行事等を通じ、多くの方々が知り合える機会を大切にしていきたいと考えています。今後とも協力をお願いします。

2. 行事報告

項目	内容
校区供養踊り (8月16日)	直前の雨で出足が鈍った感がありましたが、真萱は昨年と同程度の約35名が参加しました。踊った事の無い人も見よう見まねで踊っていました。
校区運動会 (9月25日)	今年は3年ぶりの昼食をはさんでの開催でした。真萱は約60名参加、優勝は昨年に続き公園通り、第3分団(真萱)は4位でした。今後は主催を体協から自治会が前面に出る方式に移行し、松岡全体の催しとしていくそうです。
炊き出し訓練 (9月25日)	早朝から婦人部約25名が運動会の昼食づくりをしていただきました。鶏飯が美味しい美味しいと言って皆さん食べていました。
秋の大祭 (10月22日) (10月23日)	(22日)天神社で安全を祈願後、真萱内を曳山、子供神輿で練り歩き、子供達はリュックにお菓子をいっぱい詰め大喜び、約120名が参加していました。 (23日)松岡全域を神輿(門前)先頭に巡行、真萱は約70名が参加。今年は特に「真舞会」が6月から毎週太鼓練習をしてきたからでしょうか、太鼓練習日には多くの子供(30名程度)が参加し、盛り上げた感がありました。
祭打ち上げ (10月30日)	震災で延期していた花見、運動会の打ち上げを兼ねて開催、約60名が太鼓やカラオケで賑わい、懇親を深めました。



3. 今後の予定

校区ミニバレーボール大会(11月20日8時～:松岡小体育館)。

真萱天神社霜月祭(11月25日11時～:真萱天神社)、直会の当番は芝尾・井頭班です。

4. 事業計画（今年度着工分）予定

- (1) 向原道路拡幅：とりい保育園近傍の道路法面石積み化工事がまもなく着工される予定です。
 (2) 片峰下水道整備：「JAスタンド横～平山郁夫邸前～高尾邸間」が来年1月から実施される予定です。又、工事に併せ県道の雨水対策（水路設置）も同時に実施される予定です。

尚、片峰3班地域は24年度整備予定ですが、山村自動車への水流入防止対策の同時実施を要望する予定です。（平成23年9月20日：雨のピークが過ぎた時点の水路溢水状況）



5. 防災会からのお知らせ

(1) 防災力向上について

地区全体の防災力を向上のためには自助「自分の身は自分で守る」、共助「自分たちの地域は自分たちで守る事」が必要ですが、特に以下に示す共助が重要とされています。

	自助	共助
心構え	災害は突然やってくる事を認識し、自身の防災意識を向上する	住民同士助け合いの精神で、地域の絆を強める
具体的な行動	<ul style="list-style-type: none"> 防災訓練等による防災知識の習得 火災報知機設置、家具の固定 災害時危険個所の事前把握 	<ul style="list-style-type: none"> 日頃から自治会活動に参加するなどして親睦を深める 防災訓練による技術の習得

(2) 真萱での大災害発生予測について（防災士の個人的見解）

地区として取り組むべき大災害は、地震による家屋倒壊（S56年耐震基準改定前の家屋が多い）を想定し、訓練等を行っておれば他の災害にも対応できると考えています。

	地域	家屋倒壊	大規模火災	津波	液状化	浸水	土砂災害
災害実績	阪神淡路震災	○	○	×	○	×	△
	東日本震災	○	○	○	○	○	○
	台風（紀伊半島）	△	×	×	×	○	○
想定	真萱	○	△	×	△	△	△

(説明)

- ・3連動地震（東海、東南海、南海地震）の発生確率（今後30年以内）は60%と言われており、大分市の震度は6弱以上と推定されています。又、発生確率は小さいが、別府地溝南縁断層帯（府内断層他）の地震では震度7と推定されています。
- ・津波は3連動地震時に大分港で5m程度（予想高の2倍と仮定）が予測されますが、松岡は海から10km内陸に位置し、標高も10m以上（大野川堤防15m）あるため到達は考え難い。
- ・土砂災害は裏山が低いため2階等に避難していれば生き埋めの可能性は小さいと思われる。

※ 物故者（7月～10月） 該当者はいません。